

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	ソーシャルワーク実習		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	120 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	岡井 豪 小川正子 加藤裕史	実務経験と その関連資格	主担当の岡井は、精神保健福祉士として医療法人南風会 万葉クリニック、社会医療法人渡邊高記念会 西宮渡辺病院相談業務従事した。			
<b>《授業科目における学習内容》</b> ①ソーシャルワーク実習を通して、精神保健福祉士としてのソーシャルに係る専門的知識と技術の理解に基づき、精神保健福祉現場での試行と省察の反復により実践的な技術等を体得する。 ②精神疾患や精神障害、メンタルヘルスの課題を持つ人びとのおかれている現状に関する知識をもとに、その生活実態や生活上の課題についてソーシャルワーク実習を行う実習先において調査し具体的に把握する。 ③実習指導者からのスーパービジョンを受け、精神保健福祉士として求められる資質・技能・倫理・自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。 ④総合的かつ包括的な地域生活支援と関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解する。						
<b>《成績評価の方法と基準》</b> 定期試験の点数70% 出席点20% 小テスト・受講態度点10%						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b> 新精神保健福祉士養成講座8 『ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習』 中央法規出版						
<b>《授業外における学習方法》</b> 様々なメディアで取り上げられる精神障害者関連の問題について積極的に関心を持ち、知る努力をすすめて下さい。						
<b>《履修に当たっての留意点》</b> 2年次に地域福祉施設等120時間、3年次に医療機関90時間の配属とする。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を 通じての 到達目標	利用者や関係者、施設・機関・事業者・団体・住民やボランティア等、基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係の形成を実践的に体得できる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習	
		各コマに おける 授業予定	地域福祉施設実習			
第2回	実習形式	授業を 通じての 到達目標	利用者理解、相談支援ニーズを実践的に学ぶことができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習	
		各コマに おける 授業予定	地域福祉施設実習			
第3回	実習形式	授業を 通じての 到達目標	利用者やその関係者との相談支援関係の形成について実践的に学ぶことができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習	
		各コマに おける 授業予定	地域福祉施設実習			
第4回	実習形式	授業を 通じての 到達目標	利用者やその関係者の権利擁護について実践的に学ぶことができるようになる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習	
		各コマに おける 授業予定	地域福祉施設実習			
第5回	実習形式	授業を 通じての 到達目標	利用者やその関係者の相談支援の実際について、実践的に学ぶことができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習	
		各コマに おける 授業予定	地域福祉施設実習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	多職種連携とチームアプローチについて、実践的に学ぶことができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	地域福祉施設実習		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	職業倫理と法的義務の意味と考察を、実践的に省察することができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	地域福祉施設実習		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設の職員の一員として、就業規則の遵守や役割と責任の自覚を体験することができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	地域福祉施設実習		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設の経営やサービスの管理運営について、観察を通して学ぶことができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	地域福祉施設実習		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習先が地域社会で果たす役割について考察することができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	地域福祉施設実習		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習先の精神保健福祉向上のための課題発見と提言について考察することができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	地域福祉施設実習		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	日々の実習日誌作成を通じて、自己覚知や自己の課題発見に取り組むことができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	地域福祉施設実習		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習指導者によるスーパービジョンを通じて、自己覚知や自己の課題発見に取り組むことができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	地域福祉施設実習		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習巡回を通じて、自己覚知や自己の課題発見に取り組むことができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	地域福祉施設実習		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	振り返りとまとめを通じて、実習で学べたものを確認し、自らの中に消化していくことができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	地域福祉施設実習		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	ソーシャルワーク実習		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	90 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	岡井 豪 小川正子 加藤裕史	実務経験と その関連資格	主担当の岡井は、精神保健福祉士として医療法人南風会 万葉クリニック、社会医療法人渡邊高記念会 西宮渡辺病院相談業務従事した。			
<b>《授業科目における学習内容》</b> ①ソーシャルワーク実習を通して、精神保健福祉士としてのソーシャルに係る専門的知識と技術の理解に基づき、精神保健福祉現場での試行と省察の反復により実践的な技術等を体得する。 ②精神疾患や精神障害、メンタルヘルスの課題を持つ人びとのおかれている現状に関する知識をもとに、その生活実態や生活上の課題についてソーシャルワーク実習を行う実習先において調査し具体的に把握する。 ③実習指導者からのスーパービジョンを受け、精神保健福祉士として求められる資質・技能・倫理・自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。 ④総合的かつ包括的な地域生活支援と関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解する。						
<b>《成績評価の方法と基準》</b> 定期試験の点数70% 出席点20% 小テスト・受講態度点10%						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b> 新精神保健福祉士養成講座8 『ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習』 中央法規出版						
<b>《授業外における学習方法》</b> 様々なメディアで取り上げられる精神障害者関連の問題について積極的に関心を持ち、知る努力をすすめて下さい。						
<b>《履修に当たっての留意点》</b> 2年次に地域福祉施設等120時間、3年次に医療機関90時間の配属とする。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を 通じての 到達目標	受診前や入院時または急性期の患者及びその家族への相談 援助の現場を実践的に学ぶことができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでの テキストの該当部分を 予習	
		各コマに おける 授業予定	医療機関実習			
第2回	実習形式	授業を 通じての 到達目標	退院または地域移行・地域定着支援に向けた患者及びその家 族への相談援助の現場を実践的に学ぶことができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでの テキストの該当部分を 予習	
		各コマに おける 授業予定	医療機関実習			
第3回	実習形式	授業を 通じての 到達目標	入院患者と外来患者及びそれらの家族への多職種連携による 支援を実践的に学ぶことができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでの テキストの該当部分を 予習	
		各コマに おける 授業予定	医療機関実習			
第4回	実習形式	授業を 通じての 到達目標	医療機関外の関係機関・団体及び地域住民との連携を通じた ソーシャルワークを実践的に学ぶことができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでの テキストの該当部分を 予習	
		各コマに おける 授業予定	医療機関実習			
第5回	実習形式	授業を 通じての 到達目標	患者やその関係者の相談支援の実際について、実践的に学ぶ ことができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでの テキストの該当部分を 予習	
		各コマに おける 授業予定	医療機関実習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	チームアプローチについて、実践的に学ぶことができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	医療機関実習		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	職業倫理と法的義務の意味と考察を、実践的に省察することができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	医療機関実習		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	医療機関の職員の一員として、就業規則の遵守や役割と責任の自覚を体験することができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	医療機関実習		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	医療機関の経営やサービスの管理運営について、観察を通して学ぶことができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	医療機関実習		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習先が地域社会で果たす役割について考察することができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	医療機関実習		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習先の精神保健福祉向上のための課題発見と提言について考察することができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	医療機関実習		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	日々の実習日誌作成を通じて、自己覚知や自己の課題発見に取り組むことができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	医療機関実習		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習指導者によるスーパービジョンを通じて、自己覚知や自己の課題発見に取り組むことができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	医療機関実習		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習巡回を通じて、自己覚知や自己の課題発見に取り組むことができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	医療機関実習		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	振り返りとまとめを通じて、実習で学べたものを確認し、自らの中に消化していくことができる。	配布資料等	配布資料及びこれまでのテキストの該当部分を予習
		各コマにおける授業予定	医療機関実習		